

外国送金依頼

■ヘッダー・レコード

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類「1」：ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	業務種別「35」：外国送金依頼
3	コード区分	N(1)	文字コード「0」固定：JISのみ
4	送金依頼人コード	N(10)	当行が採番したお客さまの取引先コード（右詰め残り前「0」）
5	※送金依頼人名	C(40)	お客さまの名称（左詰め残りスペース）
6	送金指定日	N(4)	送金実行日（MMDD）
7	仕向銀行コード	N(4)	当行の金融機関コード「0134」
8	※仕向銀行名	C(15)	当行の金融機関名「カギソリ」（左詰め残りスペース）
9	仕向支店（取扱店）コード	N(3)	お取引店の支店番号
10	※仕向支店（取扱店）名	C(15)	お取引店の支店名（左詰め残りスペース）
11	ダミー	C(155)	スペース

（注1）「項目名」の※：任意項目（以下同じ） (250)

（注2）「桁数」のN：半角数字、C：半角文字（以下同じ）

■データ・レコード（本体情報）

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類「2」：データ・レコード
2	データレコード区分	N(2)	データレコードの種類「01」：本体情報
3	処理通番	N(4)	1 ファイル内での本体情報のシーケンス番号「0001」～「0050」：最大50
4	※取引先照会番号	C(16)	お客さま整理番号（左詰め残りスペース）
5	送金金額		※No.5「送金金額」とNo.9「円貨対価金額」はいずれか一方のみ設定（他方はスペース）
6	幣種	C(3)	送金通貨（SWIFTコード）
7	小数点位置	N(1)	小数点以下桁数
8	金額	N(15)	送金金額（外貨額）（右詰め残り前「0」）
9	円貨対価金額		円貨額相当の外貨建送金を実行時の換算幣種、円貨対価金額
10	換算幣種	C(3)	送金通貨（SWIFTコード）※実際に送金を行う幣種を設定
11	金額	N(15)	送金金額（円貨相当額）（右詰め残り前「0」）
12	送金種類区分	N(1)	「1」：電信送金
13	電信種類区分	C(1)	スペース
14	支払区分	N(1)	「1」：通知払（ADVANCE AND PAY）
15	支払手数料区分	N(1)	手数料負担区分 「1」：送金受取人、「2」：送金支払人
16	送金目的		
17	※国際収支項目番号	N(4)	送金目的の国際収支項目 ※日銀HP掲載の国際収支項目番号を設定（右詰め残り前「0」）
18	送金目的	C(22)	送金目的を記入（左詰め残りスペース）
19	※送金許可		送金許可を受けている場合の番号と日付
20	ライセンスNo.	C(20)	認可ライセンス番号（左詰め残りスペース）
21	ライセンス日付	N(8)	認可ライセンス日付（YYYYMMDD）
22	ダミー	C(132)	スペース

(250)

■データ・レコード（会計処理内訳）

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類「2」：データ・レコード
2	データレコード区分	N(2)	データレコードの種類「02」：会計処理内訳
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	1つの本体情報に紐づく会計処理内訳データレコード数「01」：1レコードのみ
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	会計処理内訳データレコードのシーケンス番号「01」：1レコードのみ
5	分割会計内訳数	N(2)	分割決済を行う場合の「会計内訳」の件数「01」～「03」：最大3
6	会計内訳(1)		分割決済時の会計内訳(1) ※分割決済を行わない場合は全体金額を設定
7	相場区分	N(2)	決済方法 「01」：SPOT（直物）、「02」：CONT（為替予約）、「03」：NOEX（外貨）、「04」：円建
8	処理内訳金額		※No.8「処理内訳金額」とNo.12「円貨対価額」はいずれか一方のみ設定（他方はスペース）
9	幣種	C(3)	送金通貨（SWIFTコード）
10	小数点位置	N(1)	小数点以下桁数
11	金額	N(15)	内訳金額（外貨額）（右詰め残り前「0」）
12	円貨対価額		円貨相当額指定時の円貨対価額
13	ダミー	C(3)	スペース
14	ダミー	C(1)	スペース
15	金額	N(15)	内訳金額（円貨相当額）（右詰め残り前「0」）
16	※予約番号	C(16)	予約決済時の為替予約番号（左詰め残りスペース）
17	引落口座		代り金引落口座
18	幣種	C(3)	口座通貨（SWIFTコード）
19	預金種目	N(1)	預金科目「1」：普通預金、「2」：当座預金
20	口座番号	N(10)	口座番号（右詰め残り前「0」）
21	ダミー	C(10)	スペース
22	※会計内訳(2)	-(80)	No.6「会計内訳(1)」に同じ ※No.5「分割会計内訳数」が「01」の場合はスペース
23	※会計内訳(3)	-(80)	No.6「会計内訳(1)」に同じ ※No.5「分割会計内訳数」が「01」または「02」の場合はスペース
24	ダミー	C(1)	スペース

■データ・レコード（送金指図内訳）

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類「2」：データ・レコード
2	データレコード区分	N(2)	データレコードの種類「03」：送金指図内訳
3	同一種類データ・レコード数	N(4)	1つの本体情報に紐づく送金指図内訳データレコード数「0001」～「0006」：最大6
4	同一種類データ・レコード番号	N(4)	送金指図内訳データレコードのシーケンス番号「0001」～「0006」：最大6
5	可変項目数	N(2)	本レコード内の可変項目数
6	可変項目有効桁数	N(3)	本レコード内の可変項目の有効桁数合計
7	可変項目		頭3桁：接頭語、999：当該項目の有効文字桁数、括弧の数字：当該項目の最大桁数。
8	受取人		
9	受取人名	(可変)	BNN999 (MAX70 桁)
10	住所	(可変)	BNA999 (MAX70 桁)
11	※口座番号	(可変)	ACT999 (MAX34 桁) ※受取人の口座番号
12	被仕向銀行		送金先銀行（受取人銀行）
13	銀行名	(可変)	BAN999 (MAX35 桁)
14	支店名	(可変)	BAB999 (MAX35 桁) ※No.14「支店名」とNo.15「住所」は、いずれか一方必須
15	住所	(可変)	BAA999 (MAX70 桁)
16	※依頼人名	(可変)	APN999 (MAX140 桁)
17	※メッセージ	(可変)	MSG999 (MAX140 桁) ※受取人宛てメッセージ
18	※経由銀行		
19	銀行名	(可変)	BTN999 (MAX35 桁)
20	支店名	(可変)	BTB999 (MAX35 桁)
21	住所	(可変)	BTA999 (MAX70 桁)
22	ダミー	(残桁数)	スペース

(注) 可変項目の設定例は以下のとおり。 (250)

【No.9「受取人名」に「BENEFICIARY'S NAME」を、No.10「住所」に「BENEFICIARY'S ADDRESS」を設定する場合の例】

BNN	018	BENEFICIARY'S NAME	BNA	020	BENEFICIARY'S ADDRESS
接頭語	桁数	「受取人名」の内容（18桁）	接頭語	桁数	「住所」の内容（20桁）

■トレーラ・レコード

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類「8」：トレーラ・レコード
2	データレコード総件数	N(10)	データレコードの総件数（右詰め残り前「0」）
3	本体情報総件数	N(10)	本体情報の総件数（右詰め残り前「0」）
4	ダミー	C(229)	スペース

(250)

■エンド・レコード

No.	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類「9」：エンド・レコード
2	ダミー	C(249)	スペース

(250)